

平成29年度第五回ユニット型特養運営推進会議

施設長

係長

主任

- ① 日 時 平成30年1月16日(火)14:00~15:00
- ② 場 所 伯寿の郷 ユニット会議室
- ③ 参加者 山本幸子様、秦和男様、佐伯和子様、小松原祐二様、皿海様
仲佐施設長、中根サブリーダー、谷上相談員
- ④ 書記 谷上

(内 容)

1.入所者代表山本様より状況を伺う

仲佐施設長「山本様、ここでの生活はいかがでしょう。」

山本様「夜は寝てぱっかりいます。ごはんはおいしくよばれています。」

仲佐施設長「何か楽しい事はありますか。また、困っている事などはないでしょうか。」

山本様「私は元気で暮らしています。特に困ることもありませんが、良くも悪くもありません。」

中根サブ「山本様は入所されてから、とても穏やかに過ごされています。もともと控えめな性格の方ではありました。つい最近、他の入居者方が間違えて山本様の居室に入ってしまったことがありまして、とても驚かれ精神的に不安定になられることもありましたが、今は少し落ち着いてこられました。」

秦様「山本様は家はどちらですか。」

山本様「私の生まれは安田の長瀬です。」

谷上「山本様は安田の生まれで、清瀬にお嫁に行かれて生活をしておられました。」

小松原様「山本様は歩く事ができますか。年齢はおいくつでしょうか。」

仲佐施設長「歩く事は難しいですね。」

中根サブ「93歳です。」

山本様は体調を考慮して途中退席とする。

2.生活記録について

議題に沿って谷上相談員より説明を行う。

仲佐施設長「田邊様は家族様とも密に連携が取れていて、毎月外出をする事が出来ています。また、松浦様は普段では箸を上手に使う事が難しいですが、このように外出すると不思議と箸を使って食べる事が出来ています。」

中根サブ「外に出かけられると表情が変わりますね。」

小松原様「箸が持てるようになるとは素敵な事ですね。」

仲佐施設長「今後も家族との繋がりを大切にしていきたいと考えています。」

小松原様「外出は本人が行きたいと希望されるのですか。家族や職員が提案されますか。」

中根サブ「松浦様の場合は、以前からラーメンが好きであるという事を聞いていました。施設に入所したからといってこの本人様の習慣を途絶えてはいけないと、前の担当職員の時から外出を続けています。」

仲佐施設長「松浦様は昔から、家から米子まで自転車で出かけられていたようですね。」

中根サブ「田邊様の家族様はとても思いが強い家族様で、担当職員が熱心に関わり、良い関係を築けています」

小松原様「本当に良くお世話をされていると思って聞いています。担当さんががんばっておられますね。大変だと思えます。いろいろ介護職員の待遇についてニュースで耳にする事がありますが、この施設の取り組みを聞くと感心します。ただ、ご利用者の方に伝わらなければ、職員さんの自己満足になってはいないでしょうか。」

中根サブ「自己満足かどうかはわかりませんが、田邊様も短期記憶の方なので外出した事もすぐ忘れてしまいます。ただ、外出先の入浴の介助で職員も家族も一緒に入浴し、3人で「気持ちが良いね」という気分を共有できたと担当の職員から聞いた時は、本当に良い取り組みをされたなど、同じ職員として感じました。」

仲佐施設長「職員の人数も少なく、外出の時は現場の職員も少なくなっている事もあるため、その分のしわ寄せが他のご利用者にならないようには気を付けています。また外出できない方に関しては違った形の生活の満足が提供出来るように努めています。」

皿海様「墓参りや、一泊旅行等はされていますか。」

中根サブ「墓参りは本人や家族の希望があり、昨年実施しました。」

仲佐施設長「一泊旅行に関しては全国的な実践では耳にする事がありますが、実施は出来ていません。職員も勤務の時間内で行おうかと思うとなかなか難しいですね。」

皿海様「他の施設もボランティアの方の協力もあって、一泊旅行が出来ていると聞いたこともあります。」

小松原様「要望があっても、どこまで叶えてあげるかの線引きが難しいでしょうね。他の方のケアもありますし」

仲佐施設長「遠方になると本人様の体調もありますし、なかなか大変かと思えます。」

皿海様「もう少し、ボランティアが機能していると良いのですが、、、」

3.地域交流について

議題に沿って、谷上相談員より安田小学校との交流、施設開放、家族会等についての説明を行う。

仲佐施設長「安田小学校との交流については福祉教育としても、今後も継続していきたいと思っています。また防災に関して、今後も地域の方と協同して行っていきたいと思っており、今後ご協力いただきたいと思っています。またこれは従来型の方の話になりますが、ご利用者の方のお母様がお亡くなりになられた際ご自宅までお連れした事がありました。その時、親戚の方ともたくさんお会いする事が出来、本人様もとても良い表情をされておられる姿が印象的でした。」

秦様「小学校との交流は4年生からされていますか。私も井尻の放課後クラブで様々な取り組みをしていますがこの交流はとても良い事だと思っています。」

谷上相談員「ありがとうございます。4年生から交流を始め、5.6年生を中心に交流活動を行っています。」

小松原様「この小学校との交流ですがとても良い事だと思っています。出来れば伯太全域に広げていきたい。口でお年寄の方を大切にと言う事は簡単ですが、体験が伴っていないと意味がないかと思っています。これは私の考えですが、昔は保守的な考えが根強く残っていましたが、今の子どもを環境を全く違ってきています。常に子ども達が守られているような認識が強い。ただこの経験は子どもの心に凄いのが残っているのではないのでしょうか。何としてでも続けてほしいと思っていて、学校でも先日そのような話しをしてきたところです。」

秦様「子どもは素直で、とてもこのような体験は良いと思います。」

中根サブ「子ども達はくたくのない元気な様子です。ご利用者の方がボール投げが得意だよと伝えてあげるととっても楽しそうに交流をしてくれました。」

仲佐施設長「この事も回数を重ねているからこそだと思います。」

4.内部研修、その他について

谷上相談員より、議題に沿って職員研修、職員の親睦会についての説明を行う。

小松原様「この懇親会の写真ですが、職員のみなさんが若いですね。」

中根サブ「伯寿の郷は比較的職員の年齢は若いかと思えます。」

秦様「トイレについてですが、きれいにされているかと思うのですが、トイレ用のスリッパが設置していないため、そのままトイレに行かせてもらっていますがだいじょうぶでしょうか、、、。」

谷上相談員「貴重なご意見ありがとうございます。この意見についてはまた検討させていただきます。」

皿海様「伯寿の郷は玄関前に手を洗うところがありましたか。」

谷上相談員「ユニットはありますが、従来型はないですね。この件もまた検討させていただきます。」